

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公開番号】特開2007-4318(P2007-4318A)
 【公開日】平成19年1月11日(2007.1.11)
 【年通号数】公開・登録公報2007-001
 【出願番号】特願2005-181356(P2005-181356)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 17/40 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 6 T 3/00 (2006.01)

A 6 3 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 17/40 C

G 0 6 T 1/00 3 1 5

G 0 6 T 3/00 3 0 0

A 6 3 F 13/00 B

A 6 3 F 13/00 C

【手続補正書】
 【提出日】平成20年6月23日(2008.6.23)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被写体との間の距離情報を有する、前記被写体の画像を取得する距離画像カメラから出力された前記画像の前記被写体についての画素ごとのデータを取り込む第 1 のステップと

、
仮想空間を定義する第 2 のステップと、

前記画素ごとのデータに基づく 2 次元又は 3 次元のモデルを前記仮想空間内に生成する第 3 のステップと、

をコンピュータに実行させるための画像処理プログラム。

【請求項 2】

前記 2 次元又は 3 次元モデルと前記仮想空間内に定義された当り判定領域との当り判定を行う第 4 のステップと、

前記当り判定の判定結果に応じて、前記画像処理を実行する第 5 のステップと、

を、さらに前記コンピュータに実行させるための請求項 1 記載の画像処理プログラム。

【請求項 3】

前記第 4 のステップは、前記 2 次元又は 3 次元モデルと前記仮想空間内に定義された前記当り判定領域であるオブジェクトとの当り判定を行うものである、請求項 2 記載の画像処理プログラム。

【請求項 4】

前記第 5 のステップは、前記画像処理の結果の映像に、撮影した映像を合成するものである、請求項 2 又は 3 記載の画像処理プログラム。

【請求項 5】

前記 2 次元又は 3 次元モデルに、撮影した画像をテクスチャとして合成する第 6 のステ

ップを、さらに前記コンピュータに実行させるための請求項 1 乃至 4 記載の画像処理プログラム。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項記載のプログラムを記憶した、コンピュータが読み取り可能な記憶媒体。